

東京

「其の日」暮らし

|| ドイツ編 ||



歯医者さん初体験

家の前の歩道に落ち葉が増えて、朝晩の冷え込みも厳しくなり次第に秋が深まっています。そしてあと1月半ほどで時計を1時間遅らせて冬時間が始まるのです。

こちらに来て初めて歯医者さんに行ってきた。ハッキリ言って苦手な場所の1つです。ですが行かないともっと大変になって痛くなる。その上ここではもちろん日本語が通じません。行かなくて済むように、あれだけ用心をしつつ、警戒をしていたのについ粘着質の強い物を食べてしまい歯の詰め物が取れてしまったのです。しかも息子にいたいたお菓子を私がこっそり食べた時に起こっているのです。「詰め物が取れる」ということは、虫歯が進行している証拠です」という以前かかっていた歯医者さんの言葉を思い出しつつも「寝た子を起こしてもつた」とドンヨリしてしまいました。しかも金曜日の夕方のことです。それから月曜日までの時間がどれだけ長く感じたことでしょうか。痛くなると怖いので患部を庇って食べたために反対の歯の具合もおかしくなっていました。そして月曜日の朝一番で近所にある英語が通じるという歯医者さんに駆け込みました。ところが受付のおばちゃんには英語が通じないのです。こちらはせっぱ詰まっているので何とか早く診察して貰おうと必死で知っているドイツ語の単語を並べて説明したところあっさり「今は空いていないから18時に来て」といわれました。仕方がないので予約カードを買って出て行きかけると、なんと予約カードには翌日(火曜日)の18時とあるではないですか。あわてて戻ってそのことを伝えると「じゃあ明日の朝8時半に来て」とのこと。その時は仕方ないと思ったのですが、やはり早くこの不安から解放されたい！ もう一つ調べていた歯医者さんに思い切って行ってみました。

今度の受付のお姉さんは英語が話せ、その上とても親身になってくれました。そして何とか11時に診察して貰えるように手配してくれました。一旦、家に帰り一件目の歯医者さんにキャンセルを入れるためのドイツ語を調べ、そして治療に出かけました。歯医者さんですることほどこでも同じ私はひたすら目をつぶって終わるのを待つだけです。幸い同じかぶせ物をそのまま使えたので一回の治療で済みました。その後一件目の歯医者さんにドキドキしながらキャンセルに行きました。メモを見たおばちゃんは嫌な顔をすることなく



日本のものより、ひとまわり大きいドイツの歯ブラシ

「問題ないわよ」にっこり笑って対応してくれました。ヨカッタ。終わってしまえばたいした出来事ではないですが、大仕事を終えた様な気がしました。

PUKIPUKI・N

掲載の記事やイラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

株(ファッションビジネス 御堂筋新聞